

新建みやぎ

やっペあ

新建築家技術者集団 宮城支部-Web
URL : [宮城支部 | 新建築家技術者集団-新建 web - \(nu-ae.com\)](http://nu-ae.com)

2025年(令和7年)11月発行



★新建築家技術者集団 お知らせ

写真上 気仙沼市 小泉海岸と巨大防潮堤 (関連記事 P8)

2025年 建築とまちづくりセミナーin仙台へのご参加ありがとうございました。

✓ 新建築家技術者集団 第35回全国大会 2025年11月29日(土)

★No.284号 目次

- | | | |
|---------------------------------------|-------|---|
| □ 【住民が主役のまちづくりシリーズ】地域交通問題連載(最終回) | 山口 瑞子 | 2 |
| □ 宮城の住まいを考える~「住みよい県営住宅をつくる県民の会」の取組から~ | 岩渕 善弘 | 6 |
| □ 被災地めぐり 3.11から15年・気仙沼市/小泉海岸 | 阿部 重憲 | 8 |

宮城支部連絡先 ☎(022)224-2137 仙台市青葉区上杉2-2-47 東北共栄建設株式会社/土山

市民運動で通学費の格差を解決！(最終回)

一人のお母さんの訴えが、地域社会と行政を動かす

山口 瑞子

8 「新たなフリーパス」を宮城交通にも導入との朗報(2023年5月15日)を受けて

(1)導入が決まるまでの運動の4つのポイント

私たちは、2023年4月23日のつどいを成功させた後の運動をどう進めるか、第2次署名活動のことなどを議題とした会議を5月15日に持ちました。なんと、その席上に、私たちの運動が実現の運びになったという朗報が入ったのです。私たちは、喜びとともに、集い成功からまだ1か月も経たないうちの展開の速さに一同、驚くばかりでした。しかし、思えば考える会の立ち上げから5年経っていました。

この5年間の運動の推進力は何か、以下4つのポイントに整理しました。

- ① 地域を巻き込んだ5675筆の住民の声の重さ
- ② 結節点としてのつどいの成功・・・公共交通推進課長が出席し地域住民50人以上の参加
- ③ この運動の①と②の2つの山を越え、そのすそ野を支え続けてきた議会での論戦
- ④ その時々の情勢で取り組んだ市長への手紙、当局との話し合い、宮交との話し合い

この4点から、住民運動は議会での論戦無くしては実現が難しいということを実感させられました。またその逆も言えます。2つはあざなえる縄の如しの関係であると思います。

わたしたちは、この制度が2024年10月1日から実施されるという朗報を知らせるべく、チラシ(下図)を作成しました。これまで運動に参加してきた方々や署名活動に協力いただいた町内会や団体、個人など多方面にお知らせをしようというものです。地元新聞でもいち早く報道されました。

【資料】制度実現のお知らせチラシ 太白区西部地区バス問題を考える会作成

宮城交通にも「フリーパス」導入

町内会、子ども会などの署名運動が実を結ぶ

制度の基本的事項

仙台市都市整備局・交通局の発表から抜粋

宮城交通及び交通局の路線バスを乗り放題とする新たなフリーパスを導入し、交通事業者に対して市が減収となる運賃相当額を補填するスキームを実施する。(交通局の「学都仙台市バスフリーパス」も継続)

- 対象事業者・宮城交通(株)、(株)ミヤコーバス、交通局
- 対象区間・宮城交通(株)及び(株)ミヤコーバスの市内路線(乗車停留所又は下車停留所が市内)
- 対象者・対象区間を通学で利用する学生・生徒・児童(市内で乗車又は下車するもの)
- 交通事業者への補填
 - ・自宅・学校間は従来の通学定期販売額と新たな学生フリーパスの差額を補填
 - ・通学区間以外の利用については清算運賃分(実利用金額)を補填



山田・太白消防署付近を走る宮交バス

◇令和6年度中の実施をめざす

この度の仙台市の補正予算案の説明会で宮交バス等に「新たなフリーパス」を令和6年度中にも導入することを明らかにし、郡仙台市長も会見で発表しました。「考える会」は2018年に発足以来、これまで仙台市長への申し入れ、及び宮城交通本社へも2回にわたり訪問し、実施を申し入れてきました。

◇地元の署名運動が大きな力

一人のお母さんからの訴えから動き出した「学都仙台フリーパスを宮交バスにも!」の願いが、地元連合町内会等の署名運動へとなり、短期間に5675筆もの署名が集まり、大きな力となりました。

みなさんの努力が実現されることになり、非常にうれしいことです。率直に喜び合いたいと思います。

これによって、高校生の風雨の中の危険な自転車通学がなくなり、アルバイト学生の交通費への負担、親祖父による負担の軽減がなされるものと思います。

また、八木山地区など相乗り地域では、「乗り残し」など、混雑が解決されるものと期待されます。

何よりも不公平感が解消されるものと思いますが、これからも、地下鉄乗り継ぎなど「学都仙台フリーパス」と同じ条件の実施も期待したいと思います。

◆太白区西部地区バス問題を考える会 代表：大森 巍 (電話：022-245-5245) 令和5年5月22日

(2)導入決定後の仙台市との懇談 2023年9月7日

私たちは、「新たなフリーパス」制度が実際にはどんな形になるのか、その経過でもいいからお話を聞き、私たちの側からも要望も伝えておきたいとの願いのもと、2023年9月7日に仙台市都市整備局公共交通推進課との懇談会を持ちました。

担当課長からの説明は以下の通りでした。

5月に「学都仙台フリーパス」とは別の、宮城交通と仙台市交通局のバスの乗り放題となる新たな学生フリーパスについて、令和6年度末（2024年度末）までの導入に向け、対象区間や費用負担などについて、交通事業者との合意に至ったこと。路線バス運行エリアと大学所在地・高校所在地を基に学生の運賃負担に大きく差が生じていること（市バスフリーパス 5970円/月 VS 宮城交通の平均定期利用額 12000円/月）を踏まえ、その差額是正を持続可能な公共交通ネットワークの構築・若年層に公共交通の便利さ・将来にわたっての積極的利用促進の観点から実現に踏み出す。

私たちからは、宮城大学（黒川郡大和町）や尚絅学院（名取市）など、これまで恩恵のなかった大学生に新たな施策を講じてくれたことが大変嬉しいとの大森代表の話をはじめ、フリーパス 5970円と宮交バス定期券の平均運賃 12,000円との幅を極力 5970円に近づけてほしいこと、地下鉄とバス利用の乗り継ぎ・料金設定は今回の施策でどうなるのか…など要望や懸念事項が出されました。嵯峨市議（日本共産党。前）は、今回の前進を評価し、さらに「公平性を確保するには市の財政負担は不可欠であり、仙台市バスがフリーパス導入によって利用客を増やし軌道に乗せたように、宮交バスやミヤコーバスでもどう利用客を増やしていくのか、それにはどうしても利用金額を使い勝手のいいものにすることが必要」と述べました。考える会としても、現在のフリーパスと同水準に近い料金が提示されることを強く願うものでした。

課長は回答の最後に、「生活圏の変化に沿って公共交通の在り方も住民の方々と共に考えていきたい」と述べましたが、これは運動を進める上での重要な視点だと思います。

(3)導入決定後の宮城交通との懇談 2023年11月8日

仙台市との懇談の後、制度の適用拡大で事業者として宮交の状況を私たちとしても押さえておきたいと思い、懇談を申し入れました。宮交の担当課は、「制度については、仙台市が主導なので宮交からどうのということにはならない」との観点で、「考える会との懇談必要ないのでは…」との受け止めでした。そこで私たちは、制度のことだけではなく、バス路線のことで新たにお願いもあることを伝え、懇談を引き受けてもらいました。

宮交の営業部次長兼計画課長は、懇談にあたり以下のように話しました。

今回の制度は重大な施策です。正直なところ制度の実施後に不安がある。安くなければ利用者が増えるのではと思われるでしょうが、学生さんは朝と夕方しか乗らないし、混めばバスの増便も考えなければならない。運転手不足の問題も大きい。日中利用されている敬老乗車証の負担割合がもし負担増になれば、（敬老乗車証値上げ：2024年10月1日より実施。2023年11月8日時点で宮交は敬老乗車証値上げの情報をもっていた）朝夕学生さんの利用が増えても日中のお客様が減ることになる。仙台市の施策にできるだけ協力をしていきたいが簡単ではない。フリーパスのことも、導入して終わりではなく、ほかの施策も含めて総合的に考えて行かなければならぬ。

計画課長は続けて、「運転手不足については、2024年問題でますます苦しくなっており、収入より支出が大きくギリギリのところでやっと持ちこたえているというのが現状。バス業界では、限られた大型二輪免許保持者を取り合っていて、貸し切りバス・高速バスが稼ぎ頭で、路線バスの赤字を埋めているというのが長年の実態である」と話されました。そして、「フリーパス導入でプラスになる側面はあるか」との私たちの問い合わせに「蓋をあけてみないと分からぬ」という答えが即座に返ってきたことには、複雑な思いがしました。

9 朗報！ 本格実施より1年経過で補正予算が付く！

(1) 「せんだいバス FREE+(プラス)」として本格実施 2024年10月1日

いよいよ、2024年10月1日、仙台市は「学生にプラスなバスライフ」をキャッチコピーに「せんだいバス FREE+^{フリープラス}」との名称で、本格実施に入りました。一番の懸念事項であった1か月の定期代が平均の12000円台から「8000円」に圧縮されました。私たちは、とにかくこの制度が本格実施された後、どのように進むのか1年後の結果を見守ることとしました。制度の実施発表から5か月間、仙台市は、地下鉄車両内や改札口、地下鉄コンコース、定期券売り場などの広告設置やチラシ置き、また、市政だよりなどで仙台市機関の発行物で周知に力を入れました。それら宣伝物を目にしたびに1年後の結果が待たれました。**【資料】5ページ参照**

(2) 実施1年で補正予算が付く実績！ 2年目は6億1000万円計上！

2025年9月末で実施1年が経過します。私たちは、公共交通推進課にこの間の実施状況を聞き取りしました。聞き取りは以下の3点です。

① 補正予算が組まれた経緯…予想を超えるたくさんの学生さんの利用があったため。

補正予算 3億7000万円 当初予算 2億7000万円

② 利用状況の実際

令和6年(2024年)10月から半年間で 1万5000枚(定期券1か月1枚で換算)

令和7年(2025年)4月～7月 4か月間 2万1000枚

来年度 令和8年4月～令和9年3月 5万1000枚 6億円を計上

③ 宮交と仙台市交通局との収入分配の割合

宮交 8割

仙台市交通局 2割

2023年の11月8日の宮交との懇談会では、宮交はこの制度の実施に不安を示していましたが、それを拭い去る結果が出たことに私たちは心から安堵致しました。

10 おわりに

「せんだいバス FREE+^{フリープラス}」は好調な滑り出しを見せています。今後は、バスと地下鉄の乗り継ぎをシステム化し、さらに利便性の高い制度になるよう関係部署に働きかけていくことです。先行していた「学都仙台フリーパス」は、地下鉄への乗り継ぎはすでにシステム化されて大変スムーズに利用されています。

2025年夏の参院選の直後に仙台市太白区の市議補選があり、市議会に反映してもらうよう地域の皆さんのが声を聞いてを回りましたが、高校生のいる家庭からは一様に、フリーパスが宮交で使えることになり本当に助かっているという声が聞かれました。また、バス路線の廃止やバスの減便、最終バス時間の繰り上

げなどで困っていることがたくさん出されました。

公共交通の問題は、今や全国どこの地域でも声が上がっています。その解決には一民間バス事業者での解決は難しく、行政が関わり公共交通施策として打ち出していかないと前に進むのは難しいことと実感しています。今後も、私たちは『皆さんの声を聞き』解決に向けて運動を進めていきたいと思います。（了）

【資料】せんだいバスFREE+の最新情報

出所 仙台市HP

せんだいバスFREE+は、学生・生徒・児童が宮城交通(※)及び仙台市交通局の路線バスを、通学に加え、買い物、アルバイト等自由に乗り放題となる定期乗車券です。IC乗車券iccsaで発行します。

(※)「宮城交通」には、宮城交通株式会社と株式会社ミヤコーバスを含みます。

販売価格(税込)

有効期間	大人 (中学生以上)	小児 (小学生以下)	福祉割引
1ヶ月	8,000円	4,000円	5,600円
3ヶ月	24,000円	12,000円	16,800円
6ヶ月	48,000円	24,000円	33,600円

※iccsaをお持ちでない方は、発行する際にデポジット(預り金)500円が別途必要となります。

販売及び払戻し場所

宮城交通の仙台駅前案内所 (西口バスターミナル8番のりば前)	地下鉄長町南駅乗車券 発売所の宮城交通窓口
宮交仙台高速バスセンター (広瀬通40番のりば前)	地下鉄泉中央駅乗車券 発売所の宮城交通窓口
押野商店 (鉤取バス停前)	宮城学院生活協同組合 (宮城学院女子大学内)

※押野商店と宮城学院生活協同組合では、払戻しはできません。

※仙台市交通局の窓口では、販売及び払戻しはできません。

※各場所や営業時間等、最新の情報は仙台市ホームページをご確認ください。

購入可能な方

下記の学校等にバスで通学する学生・生徒・児童の方が購入可能です。

※仙台市外にお住まいの方も含みます。

- 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校
- 大学及び高等専門学校 等
- 宮城交通及び仙台市交通局の双方が通学定期券販売を認定した専修学校 各種学校
- 高校・大学のうち通信制の学科 等

※認定を受けているかは各学校にお問い合わせください。

購入について

● 新規購入の際、または毎年度最初に購入する際

学校長等が発行する通学証明書(発行日から1ヶ月以内のもの)と定期乗車券購入申込書を、窓口係員にご提出ください。

※利用開始日の14日前から購入できます。(ただし、利用開始日が令和6年10月1日～令和6年10月3日のFREE+については、令和6年9月20日からの販売となります。)

● 継続購入の際

学生証と利用中のせんだいバスFREE+をご持参のうえ、窓口にてお申込みください。

※利用開始日の14日前から購入できます。

※転居や転校等により通学区間が変更となる場合は、通学証明書をご提出ください。

乗り放題となる路線

下記の路線が乗り放題です。

- 宮城交通の仙台市に関わる路線(乗車・降車停留所のどちらかが仙台市内であれば乗り放題)

● 市営バス全路線

※高速バス、るーぶる仙台、楽天シャトルバスを除きます。

※乗車・降車停留所のどちらも仙台市外の場合は乗り放題の対象外となります。

※仙台市内の停留所の範囲については、仙台市ホームページをご確認ください。



iccsa1枚で購入可能となるもの

せんだいバスFREE+と、地下鉄通学定期券や宮城交通高速バス通学定期券等が1枚で購入可能です。

※仙台市交通局の学都仙台市バス・地下鉄フリーパスやJR通学定期券との組み合わせはできませんので、それぞれお買い求めください。

その他

- 詳細については、仙台市ホームページをご確認ください。

- 宮城交通や仙台市交通局が発行する通学定期券(学都仙台市バス・地下鉄フリーパス含む)については、引き続き購入が可能です。

お問い合わせ

仙台市都市整備局 公共交通推進課

T E L:022-214-8353

MAIL:tos009520@city.sendai.jp



宮城の住まいを考える 国総研「住宅ストック推計プログラム」で推計したら？

=県が県営住宅用途廃止で公表しなかった公営住宅要支援世帯数の推計値とは=

取組の始まり(経過)

令和5年(2023)の正月早朝、宮城県は「県営住宅廃止及び移転案内」を10年以内に耐用年限を迎える6県営住宅(中江、黒松、将監、多賀城八幡、村町石生)居住者401世帯にポスティングした。「全101県営住宅9,048戸を2067年まで順次用途廃止、その10年前から居住者に案内する」と、突然の通知で居住者は戸惑った。

議会説明は、令和5年3月「県営住宅の集約に伴う移転支援の方針は、県内の公営住宅の需給バランスから県営住宅は不要、廃止を決定した。著しい困窮年収世帯の推計と県市町の公営住宅管理戸数及び生活保護の住宅扶助額未満の家賃世帯は、良質な民間の低廉家賃住宅の供給があり十分」が初めてである。

居住者からの相談が議会に寄せられたが、多くの会派は聞き置くだけ動かなかった。相談対応した県議は早速実情を調査し、県当局に「方針決定の前に、居住者との協議がなかったのか、十分説明せず、突然の移転支援はないだろう」と質問したが「耐用年限と需給バランス」、これが居住者の怒りとなっている。

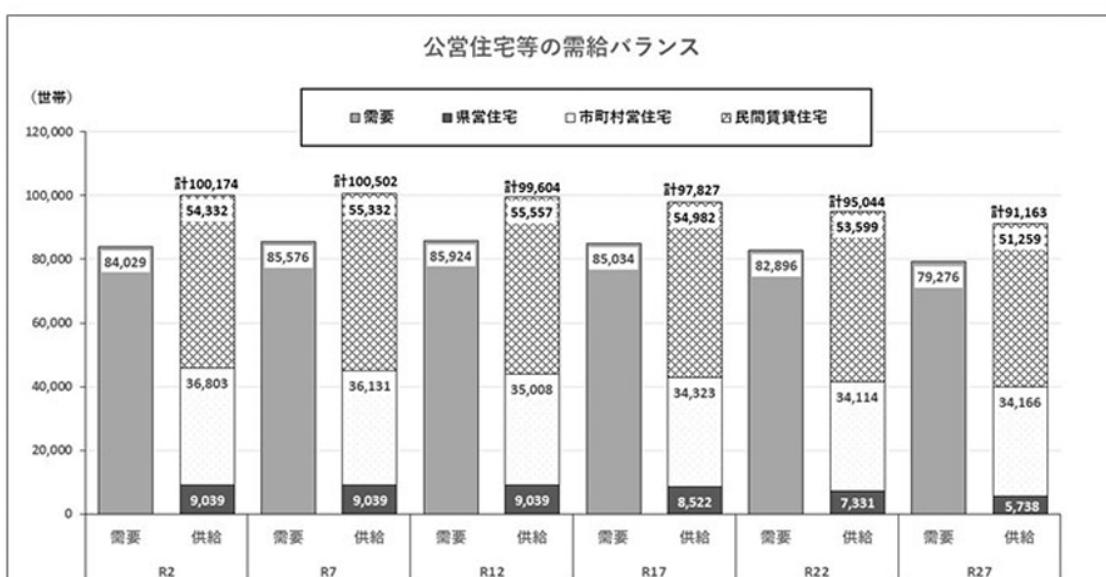
この図には「廃止根拠の需給バランスは、国総研「ストック推計プログラム(推計PG)」(R3年)による」と記載。

今年9月の県営住宅募集には、「2067年まで用途廃止する県営住宅リスト」を同封して入居募集している。

1. 「公営住宅等の需給バランス」は県営住宅入居応募や住生活実態を反映しているか？

=公営住宅入居資格者は「著しい住宅困窮世帯」だけ？県営住宅の集約に伴う移転支援の方針を問う=

1) 県営住宅用途廃止の根拠に公表した「需給バランス」のグラフ、県の入居者配布資料



(需要) 公営住宅等長寿命化計画策定方針指針(改定)(平成28年8月国土交通省住宅局)で公開されている「ストック推計プログラム(令和3年公開版)」による将来の「著しい困窮年収未満の世帯数」の推計結果

(供給) ①公営住宅 : 県・市町村の公営住宅等の管理戸数

②民間賃貸住宅 : 民間賃貸住宅のうち、低廉な家賃(生活保護制度における住宅扶助額未満の家賃)かつ一定の質(昭和56年以降の新耐震基準で建設され、最低居住面積水準以上が確保されたもの)の戸数

これらの背景を踏まえると、新たな公営住宅の整備を積極的に進める状況ではなくなってきている。

県が管理している公営住宅、改良住宅及び特定公共賃貸住宅(以下「県営住宅」という。)は、101団地548棟9,048戸あり、その大半が昭和40年代後半から昭和60年代までの20年間に供給されたものであるため、今後これらの県営住宅のストックが集中的に耐用年限を迎えることとなる。「県営住宅ストック総合活用計画」においては、「入居者の安全・安心を確保するため、定期的な点検などを行い、団地の実情を把握しながら、適切な維持管理を実施することにより、長期的な活用を図ります。」とされているが、老朽化の進行による耐震性能の低下などの様々な問題に対して、今後対応していく必要がある。

今後、人口減少・少子高齢化・世帯数減少の進行に伴い住宅ストックの余剰が増えていく中で、本県では、東日本大震災により被災した住宅再建のため、災害公営住宅が約1万5千8百戸整備され、公営住宅全体の戸数は震災前の約3万1千8百戸から約4万5千5百戸へと約1.4倍増加している。以上が、県の説明概要である。

県は、R5年4月賃貸住宅関連業界と協議、R5年5月「移転対象県営住宅居住者説明会」開始、R5年9月

「移転意向確認調査、移転手続き」に着手。県当局は、「耐用年限が来たので廃止、移転支援」のみを一方的に説明、「あとは個別相談ですから、個人情報があるので」と回答を拒んで、移転支援の手続きを進めている。

2. 県の一方的的通知・不親切対応と県営住宅居住者の戸惑い怒り、県民の会設立へ

居住者は、「詳細な理由もなく納得できない、住み続ける不安」や「県の姿勢への不信」などの多くの意見が、相談対応した県議が音頭を取って、「移転通知された県営住宅居住者との意見交換」を開催した。その会に参加。

県営住宅居住者やTV報道されていた黒松第二居住者、震災研究センター遠州氏(元大阪経済大)、自治体専門家、まちづくりから新建の阿部重憲氏(災害公営住宅住民の会会長)とともに。意見交換会から、県民の共有財産の県営住宅の存続、住みよい県営住宅、との共通認識で、R5年9月9日県営住宅居住者と会を設立した。

県民の会は、①県との意見交換、②街頭署名宣伝、③市町の意向調査(県営から市町営住宅への移転指導に関して)、④住まいNPOなどに取組、3年目。高齢の居住者も多く、制約もあり、多くの課題がある。

3. 県民の会も、国総研「推計PG」を使い「公営住宅入居資格者」を算定した、結果は！！

本稿では、県の「需給、著しい困窮年収未満世帯の推計」に問題はないかを中心に述べる。2025年6月末から取り組んだ。手始めに、県が利用した国総研の「ストック推計プログラム」の“技術解説”の理解からである。

一歩間違えば、県の推計に取り込まれる可能性はあったが、

まず、結論を述べる。推計PG開発者の概要説明には、非常に重要な技術解説として4点(下記)があった。

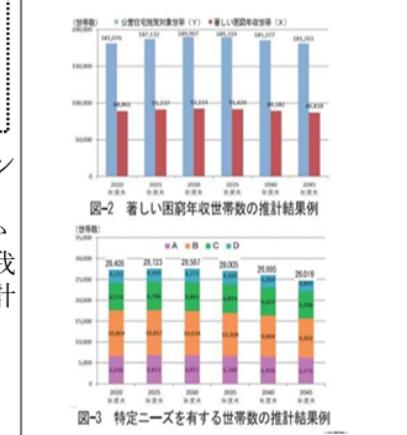
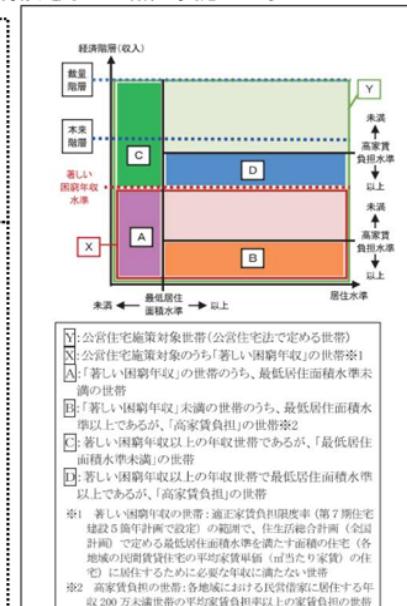
I.2 住宅確保要配慮者世帯の推計方法
I.2.1 推計の基本的枠組み

1) 住宅確保要配慮者世帯の定義(参照 右図)
推計対象とする住宅確保要配慮世帯は、**公営住宅の施策対象(Y)の世帯のうち、民間市場において、自力で適切な家賃負担で最低居住面積水準を達成することが著しく困難な年収以下の世帯(X)**と定義する。

2. 推計PGの改良の概要
推計PGは、国勢調査家住宅、土地統計調査、家計調査等の既存統計データをもとに、**公営住宅の施策対象世帯(図-1のY)のうち、著しい困窮年収の世帯数(図-2のX)等の対象世帯を、2020年から2045年までの5年毎の時点で中長期的に推計**

- ① 推計できる世帯属性の拡充
図-1(A～D)の居住水準や家賃負担率からみた特定ニーズ世帯数の推計
- ② 推計対象とする世帯属性ごとの選択肢の拡充選択
対象年齢を25、30、40、50、60、75歳に拡充
- ③ 法律上の住宅確保要配慮者の自動算出
住宅セーフティネット法で定めている住宅確保要配慮者のうち、統計的に把握できる低額所得者(政令月収15.8万円以下)、高齢者、子育て世帯、外国時の世帯数を自動算出・表示する機能
- ④ 地方公共団体の属性別のPGの作成
1995以降の市町合併の違いから、その履歴毎にデータ入力を考慮した。

※国交省住宅局は、公営住宅等長寿命化計画策定において、この国総研の「ストック推計プログラム」を利用して、自治体の住宅政策に活用できるとしている。(H28.8)



被災地めぐり 3.11から15年目・気仙沼市/小泉海岸

(表紙写真)

阿部 重憲

被災直後から仙台市宮城野区蒲生地区の被災者のまちづくり運動に係わってきました。その関係で、高度成長期以来の港湾開発から蒲生干潟を守って来た市民運動の方々とも知り合い、被災地の海辺の自然について考える「里浜ネットワーク」の活動にも時々顔を出してきました。 写真 スナガニ(上) 同巣穴(下)

その「里浜ネットワーク」では、防潮堤建設等による震災後の生態系の変化について調べようとスナガニの生息（定点）調査を行っています。今回参加することにした小泉海岸（気仙沼市）を含め、10月13日には各地の調査についての報告会が行われました。

今回の調査地区である小泉海岸には、高さ 14.7m、巾 90mと県内最大の防潮堤（表紙写真）があります。建設をめぐり、大規模な住民運動（注1）も展開されましたが、残念ながら県当局等に押し切られた地区のひとつです。しかし地域住民は、かつての自然環境は失ったものの残された素晴らしい環境を次の世代に伝えいくために様々な活動を展開しています。

そんな方々とともにに行ったスナガニ調査（写真右上：スナガニの穴）でした。個人的には巣穴4か所の砂をかき出し、スナガニに出会えるのはと期待を寄せましたが、見事にふられ捕獲ゼロでしたが、全体では成果があったようです。しかし、この日も暑かったので、調査は早々に切り

その後、気仙沼の住民主体の復興の底力になった、全国的にも有名な旧本吉町公民館・社会教育運動の拠点である本吉町図書館を訪ねました。気仙沼図書館と本吉図書館の歴史は長く、2016年4月に100周年を迎えたそうです（現在は、気仙沼図書館、気仙沼図書館唐桑分館、本吉図書館）。本吉図書館の始まりは、合併した御岳村、大谷村、小泉村の各小学校に大正5年から6年にかけて併設されたとのことです。戦後は本吉町公民館図書館として、町内各集落の公民館分館の活動を背景に整備されました。

（注2.写真右 図書館は、この建物の中に併設されています）。

その静かな佇まいを後に帰路につきましたが、途中の生活拠点である津谷商店街の姿は痛々しく、殆どのお店が閉まり、道行く人はおりませんでした。



写真 スナガニ(上) 同巣穴(下)



注1) 小泉海岸関連陳情書 <https://www.pref.miagi.jp/documents/13837/286054.pdf>

注2)「気仙沼市の図書館100年のあゆみ」発行 平成30年3月29日 発行者 気仙沼市図書館

<https://www.kesennuma.miyagi.jp/edu/s187/010/010/010/150/toshokan-ayumi.pdf>

2025年建築とまちづくりセミナーin仙台が、無事終了しました。皆さんお疲れ様でした。年明けには3.11の丸15年目がやってきます。何をして来たのかが、心底問われる時がやってきます。

(20251107.SA)